

厚生労働科学研究費補助金
障害者政策総合研究事業（感覚器障害分野）
分担研究報告書（H30-感覚器-一般-001）

聴覚障害児・盲ろう児の補装具（補聴器・人工内耳）の装用に関する研究

分担研究者：森 尚彫（関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科 講師）

研究要旨

児童発達支援担当者向けの聴覚障がい児および盲ろう（視覚聴覚二重障がい）児の発達支援研修プログラム・テキストの開発にあたり、聴覚障害児・盲ろう児の補装具（補聴器・人工内耳）の装用について、最新の動向を取りまとめてテキストを作成した。

A．研究目的

児童発達支援担当者向けの聴覚障がい児および盲ろう（視覚聴覚二重障がい）児の発達支援研修プログラム・テキストの開発を行い、望ましい臨床発達支援の在り方のモデルを検討考察する。

の支援法が普及し、児童発達支援現場の質的向上に実際に貢献できるためには、今後、本テキストを活用した初任者向け研修会の定期開催と効果的な研修方法を継続して検討していく必要があると考えられる。

B．研究方法

就学前聴覚障がい乳幼児および盲ろう（視覚聴覚二重障がい）児の発達支援研修プログラム作成にあたり、聴覚障がい児の療育に必要な聴覚障害の知識、補聴機器の知識等の学習を行うことが可能なテキストを執筆する。

（倫理面への配慮）

テキストに具体的ケース（エピソードや写真）を紹介する場合は、患者のプライバシーに配慮し、個人を特定できないように十分に注意を払った。

E．結論

児童発達支援現場では、聴覚障がい児および盲ろう児の適切な早期支援法は十分普及しておらず、当事者が必要とする支援が十分受けられないことが大きい問題である。対象児が早期に適切な補装具を活用し、コミュニケーションの構築、言語獲得、社会性の発達等を促進することが可能となるために、本テキストを活用した定期研修会の開催・受講によって、児童発達支援現場の質が向上することを期待する。

C．研究結果

聴覚障害領域（領域3：聴覚障害・視覚障害の補装具と環境調整、情報アクセシビリティ：聴覚障害の補装具～補聴器・人工内耳）のテキストを作成した。

D．考察

専門的知識の学習のためにできるだけ平易な用語を用いたテキストを作成した。今後、聴覚障がい児ならびに盲ろう児

F．研究発表

1. 著書：

森 尚彫（2020 予定）「第1章 新生児聴覚スクリーニングの実施から支援への流れ」、「第3章 聴覚障害の補装具～補聴器・人工内耳」所収 黒田生子ほか編著・監修『聴覚障がい児・盲ろう児の発達支援テキスト（DVD 付き）基礎編』 工

スコアール

2. 論文発表

なし

3. 学会発表

「聴覚障がい児・視覚聴覚二重障がい児の早期発達支援～児童発達支援初任者用研修プログラムの開発について」第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会 神戸 2018

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし